

英語科 単元構想シート

作成者：富田 千春

1 学 年 第3学年

2 単元名 Daily Scene2 手紙

3 単元の目標

- (1) 好きな有名人へのファンレターを10文以上の正しい英語で書く。
- (2) 間違いを恐れず積極的に英語で手紙を書く。
- (3) 自分の気持ちを相手に分かりやすく伝えている。
- (4) 手紙の構成に関する知識を身に付けている。

4 本校が育成を目指す資質・能力とその手立て

資質・能力	資質・能力を身に付けさせるための手立て
知一①	手紙の構成に関する知識を身に付けさせる。
思一③	相手に伝えたいことや自分の気持ちをまとめさせる。
主一①	マッピングで考えを膨らませ、表現したいことを日本語でメモさせる。 自分の気持ちを伝える英語表現を理解させる。
他一②	グループで意見を交流し、自分自身の意見を客観的にとらえさせたり、他者の意見を取り入れたりする。

5 単元の計画（全5時間）

学習過程	時	○本時のめあて ●学習内容	評 価				
			関	表	知	評価規準 (評価方法) 【資質・能力】	※評価規準の太字ゴシック体の部分において本校が設定した資質・能力を評価する。
課題の設定	1	○ファンレターの内容を理解することができる。 ●モデル文の構成を理解する。 ●ファンレターに使える英語表現を理解する。			○	モデル文を読み、手紙の構成を理解している。 (行動観察) 【知一①】	
情報の収集	2	○ファンレターを書くために内容をまとめることができる。 ●自分の気持ちを伝える英語表現を理解する。 ●好きな有名人にファンレターを書く内容をマッピングする。 ●マッピングをもとに自分でファンレターの構成を考える。	○			好きな有名人に自分の気持ちを伝えられるように手紙を書こうとしている。 (行動観察)	
整理・分析					○	好きな有名人に自分の気持ちを伝えるために相手に伝えたいことや自分の気持ちをまとめている。 (ワークシート) 【主一①】	
まとめ・創造・表現	3	○ファンレターの本文を書くことができる。 ●本文を個人で書く。 ●グループでよりよいファンレターのために意見を交流する。 ●自分のファンレターを修正する。	○			グループでよりよいファンレターにするために意見交流をしている。 (グループ活動) 【他一②】	
					◎	グループで交流したことをもとによりよい英文を書くことができる。 (ワークシート) 【思一③】	

実行	4	○自分の気持ちを含めてファンレターを書くことができる。 ●自分の気持ちを含めて英文10文以上の英語でファンレターを書く。 (パフォーマンス課題)	◎	好きな有名人へのファンレターを10文以上の英語で書くことができる。 (ワークシート) 【思-③】
振り返り	5	●単元テスト	◎	手紙の構成に関する知識を理解している。 (ペーパーテスト) 【知-①】

6 単元開発のポイント・学習を終えた生徒の姿

○単元開発のポイント

生徒が既習事項を使ってファンレターを書くという、ネイティブスピーカーと実際にコミュニケーションをとることを想定させる場面を取り入れ、自分の思いを相手に分かりやすく英語で表現する力を育成するところにポイントをおいてデザインしました。

《手立てのポイント》

書く活動においてまず、個人作業（英文を書く）→ペア・グループ交流（自分の意見を発表する）→グループ作業（添削し合ったり、文を付け加えたりする）→再度個人作業（修正したものを再度書き直す）を行う中で伝え合う活動も取り入る。積極的に他者と協力する中で表現力の定着を図る。



○学習を終えた生徒の姿

自分の気持ちや感想などを含めた10文以上の正しい英語で相手にわかりやすいファンレターを書くことができる生徒。

